



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース39号

祝 50万人達成！！



平成26年5月25日（日）、開館以来の来館者数が50万人に達しました。初夏を思わせるこの日も家族連れやグループで館内はとても賑わっていました。記念すべき50万人目は、大田区北糺谷在住の原田さん家族でした。原田さんは普段から絵本の読み聞かせや3階の花壇のお世話などに来館しており、ちょうどこの日も家族3人で来館したところでした。

31日には、50万人という節目をお祝いするとともにこれまでの多くの方々の来館に感謝して、記念セレモニーが行なわれました。記念セレモニーでは松原大田区長からの記念品贈呈式を中心に、藤本秀三根氏と秀三根会の皆さんによる大森甚句コンサートも行なわれ、花を添えてくれました。

ふるさと館が開館したのは今から6年前、平成20年4月6日のことです。当日は開館を待ちわびていた人たちで押すな押すなの賑わいでした。その後も、年代や区内外、国籍な



どを問わず、とても多くの人々が訪れて下さっており、毎年の来館者数が8万人を超える、都内でも有数の人気施設となっています。



ふるさと館には、国の重要有形民俗文化財に指定されている貴重な道具類や子どもも楽しく学べる展示をはじめとして、毎月行われている様々な体験型イベント、元海苔生産者の貴重な体験が聞けたり、昔の技術を習うことができるなど、いろいろな魅力があります。しかしながら、何よりの魅力は、普段から利用して下さっている方々、協力して下さる元海苔生産者、はまどの会メンバー、海苔のふるさと会会員、地域の方々など、多くの人たちの想いが集まっていることではないでしょうか。

今回の50万人を機に、これからもより一層多くの方々の想いが集まる、魅力あふれる施設を目指していきたいと思っております。（小山）



はじめまして、天空ガーデン



昨年5月から、来館者の方々と交えて3階の花だんづくりを始めました。来館者の皆様の投票により、その花だんの愛称が、「天空(てんくう)ガーデン」に決まりました。空に近い3階のベランダで、太陽の光をいっぱい浴びながら、季節に合わせた花が咲きみだれ、ふるさと館の憩いの場となっています。

この花だんは、宿根草と一年草を組み合わせたローコスト・ローメンテナンスな花壇です。ほどほどの手入れで、花や緑が次々に入れ替わり美しい姿を見せてくれるので、目にも懐にも優しいのです。



5月の植え替えでは、開花期が長いジニアを中心とした花を植えました。今は宿根草のサルビアや宿根リナリアが見ごろです。

毎月の手入れは、第一または第二水曜日の午後、どなたでもご参加できます。道具は用意しているので、帽子持参でご参加ください。これからの季節、参加者はタイムやローズマリー、ミントなどのハーブの摘み取りもできます。お子さんと一緒に、お友達を誘って、一緒に花壇のお手入れをしましょう。

※作業予定日は、館内の掲示板とWEBにてお知らせします。(マコ)



新職員のごあいさつ

三好 周平

これまでは河童の研究をしており、海苔については門外漢でしたが、この約2ヶ月の間に海苔の魅力にすっかり虜になっております。出身は広島で、海苔といえば味付け海苔のことでしたので、シンプルな焼海苔を非常に新鮮な気持ちで食べています。海苔養殖の歴史やその道具など、かつての大森のことを、より多くの方にお伝えしたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

吉田 野空海 (のぞみ)

大田区生まれ、北区育ちで、海苔は食べるのも見るのも大好きです。自然が好きで趣味は磯散策とシュノーケリングです。大学では藻類(特に珪藻)の勉強をしてきました。専門分野を活かし、日本食である海苔の文化・伝統技術を習得し、継承していきたいと思っております。

皆様のあたたかいご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



臨時休館日

6月16日(月)～20日(金)は、くん蒸のため臨時休館します。

?くん蒸ってなに?

当館に展示している船や海苔の道具は、「国の重要有形民俗文化財」に指定された貴重な文化財です。永く後世に保存するため、道具に付く害虫を殺虫するくん蒸を行います。(マコ)

海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館 ニュース」39号
平成26年6月1日発行
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区 平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347